

日本企業で活躍する
JET OB・OG

世界のリーディングエアラインを目指して

全日本空輸（株）人財戦略室人事部 ANA's Way 推進チーム デビット・バッコフ

まずは、JET プログラムが 30 周年を迎え、心からお祝いを申し上げたいと思います。私にとって大変貴重な体験になり、当時習得した技能や築いた友情からは引き続き恩恵を受けています。

JET の参加者がよく言うことわざ「ESID」(Every situation is different) のとおりに、当時とてもユニークな体験をしました。仙台市教育委員会の管轄にあった定時制高校に勤務した際、生徒の大多数は私より何歳か年上であり、ほとんどの職務は英語教育ではなく、生徒のワークライフ指導者と相談役でした。

この有益な体験は、多角的に勉強する機会となり、とりわけ異文化問題解決のサポートができるようになりました。ここで得た経験と知識は、ANA の人事プロフェッショナルとしての日々活かされています。

現在、日本国内と 18 か国にある海外支店の企業文化・風土改革の推進と浸透を担当しています。JET の経験を踏まえて発足させた企



業文化の浸透推進を目的としたチームは、多様化する環境の中で ANA Group における社員満足・エンゲージメントを目的に活動しています。今後も ANA Group が世界のリーディング・エアライン・グループになるように、ますます新規のプログラムや取組を導入していきたいと思っています。

過去 30 年間で、JET Programme は日本の国際化における不可欠な要素であったと思います。国際理解の観点から見て、私が来日した 15 年近く前よりも日本の社会は大きく進歩しています。日本の文化は元来、魅力を持っており、この魅力とさらなる国際的理解を併せることで世界の模範になれると思っています。

プロフィール



デビット・バッコフ

米国、フロリダ州出身。2003 年大学を卒業後、ALT として仙台市教育委員会に所属。現在、全日本空輸(株)人財戦略室に所属し、日本国内・海外の組織文化と風土改革の推進担当として邁進している。

人事担当者から一言

全日本空輸（株）人財戦略室人事部 副部長 神田 真也

当社では事業のグローバル化の進展を受けて、外国人採用を積極的に進めています。ある日、当社グループ行動指針の柱である「あんしん、あったか、あかるく元気！」にぴったりの米国人がいたら、デビットさんの紹介を受けました。バイタリティに溢れ、巧みに日本語を操る人懐っこい彼の存在感は、群を抜いていました。

ANA グループでは、2012 年度に全グループ社員共通の「ANA's Way (グループ行動指針)」を策定し、全世界のグループ社員への浸透と行動化の促進に努めています。デビットさんは、その主幹である人事部 ANA's Way 推進チームに所属し、国内外の事業所への展開や、グループのグローバル



化促進に向けた企画・調整業務を担当されています。

ANA's Way には「努力と挑戦」という言葉があります。ひたむきな「努力」と、何事にも「挑戦」する彼は、まさに「ANA's Way を体現するグローバル人材」として、知名度 No.1 の大活躍をされています。彼は米国人ながら日本人の特性を理解し、上手にリードし周囲を巻き込みながら物事を進めておられます。彼の貢献により「全世界のグループ一体感」は飛躍的に高まりました。JET プログラム時代の経験が、こうした彼の仕事ぶりに活かされているのだろうと思います。JET プログラムを通じ、世界と日本の架け橋となる人材育成がさらに進むことを期待しています。

デビットさんには、今後も、グループの人財育成をはじめ、企業活動の枠を超えた社会・文化面での交流促進において、彼にしかできない活躍を期待しています。